

ひしわ園 通信

2014年12月10日

発行所

株式会社 菱和園

〒400-0865

甲府市太田町4-7

電話055-235-5075

FAX055-233-2190

ホームページ

<http://www.hisiwaen.co.jp>

味と香りのコミュニケーション



カフェインについて

今回はお茶に含まれているカフェインを取り上げてみます。カフェインの持つイメージとして夜眠れないとか、刺激が強いというものを抱く人もいると思いますが、カフェインはお茶が永年飲み継がれる所以の成分だと言われています。



カフェインは、お茶に含まれているカテキンやテアニンと共存することによって茶特有の味を作り上げ、また各種の茶として様々に加工されるときに紅茶・ウーロン茶・茶葉に含まれる酵素の活性に役を担うなど、カフェインによって多種多様な色、味を持つ茶に生まれ変わります。

緑茶(日本茶)にはほうじ茶、抹茶など全てのものにカフェインが含まれています。湯呑1杯に30〜50mg入っており、カフェインの効能は30分〜1時間でピークに達します。主な作用として元気になる作用と利尿作用があります。眠気覚ましにお茶を飲んでから1時間くらいで眠気がとれるようになるので、午前の10時と午後の3時をお茶の時間にしていたのは、ピークが過ぎるのが大体その時間ということだったんですね。

昔の人はさすがです。お茶を飲んで元気に仕事や家事に励みたいものです。

またカフェインの作用で、利尿作用があります。トイレが近くなったこともありますが、利尿作用によって体内の老廃物が出て行き、血液の循環がよくなると言われてはいます。体内には良いものばかりではありませんから、必要のないものは外に出したいものです。

師走に入ってから益々寒く忙しい時期でもありません。カフェインの力をいただきながら、元気に過ごしていきましょう。

カフェインの多く入ったお茶として、ひしわ園の直営店で販売している「高級煎茶」をおすすめします。このお茶は、鹿児島県産の一番摘みを使用して「かぶせ」と言って新芽を一定の期間、太陽の日差しを当てないで育てたお茶も入っています。そのため味が濃厚でうま味のあるお茶になっています。



世界の日本茶事情

一昔前の日本の食生活は三度三度の食事に日本茶を欠かさず飲んでいました。しかし生活様式が変わり、洋食化が進んで日本茶を飲む回数も少なくなっています。知り合いの中には「お茶を飲まなくなったなあ」と寂しいコメントをもらうこともあります。

その一方で海外では日本食と日本茶が人気です。下記の表でも米国への日本茶の輸出が全体の半分を占め、また米国以外にも日本茶の輸出は伸びています。

先日コーヒーチエーンのスターバックスがニューヨークにお茶専門店をオープンしたという報道がありました。また、コーヒーマ専門店が日本茶を積極的に販売しています。なぜ日本茶が米国で人気かと言いますと、健康ブームがあります。アメリカ人の男性72%が肥満で社会問題になっているのです。数年前に多量の清涼飲料水などの販売を禁止するという動きもありました。肥満は糖尿病、高血圧、最近では認知症の原因とも言われるように病気と関わりが深いのです。そこで日本茶が注目されるようになったのです。米国では日本茶の良さが更に認識されれば、需要はもっと伸びると言われています。

日本茶発祥の我が国でも「健康」を一つのキーワードに需要が伸びてもらいたいものです。そのためにも私たちは今後も日本茶の魅力が伝わるように心掛けていきます。

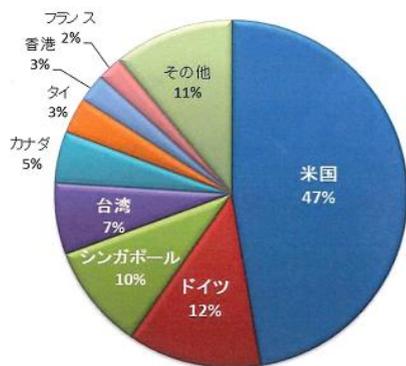
日本産緑茶輸出額 (上位8カ国)

国名	単位: 100万円			全体に占める割合			前年比 2013/2012
	2011年	2012年	2013年	2011年	2012年	2013年	
世界	4,716	5,053	6,610	100%	100%	100%	131%
米国	2,252	2,339	3,129	48%	46%	47%	134%
ドイツ	504	448	814	11%	9%	12%	182%
シンガポール	434	777	641	9%	15%	10%	82%
台湾	179	274	440	4%	5%	7%	161%
カナダ	337	267	319	7%	5%	5%	119%
タイ	151	191	220	3%	4%	3%	115%
香港	162	155	173	3%	3%	3%	112%
フランス	208	104	153	4%	2%	2%	147%
その他	489	498	721	10%	10%	11%	145%

HSコード: 0902.10-000, 0902.20-000

※1000万円の位で四捨五入した値

輸出先内訳 (2013年)



(資料) 財務省『貿易統計』よりジェットロ作成

「ひしわ園通信」のご意見、ご感想をお待ちしております。

TEL 055(235)5075
FAX 055(233)2190

編集スタッフ

小尾武久 / 花輪正彦
市村卓也 / 小林正人

